

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 放課後等デイサービス ハレノヒ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2024年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な体験を通し、成長につなげるような経験ができる	長期休暇は体験施設(勾玉づくり、土偶づくり、そば打ち)や観光スポットへ出かけ、普段できないようなワクワク体験をします。また、地域の障害者事業所等との連携を図り、職業体験(パン作り・接客体験)や地域の方々との交流を行うことができます。	今後も地域の方々との連携を図りながら様々な社会体験ができる場を作り、一人ひとりの成功体験や自信につなげていきたい。
2	一人ひとりの発達に合わせた個別支援を行っている	職員間で情報共有、共通理解に努めている。また、落ち着いて取り組める個別スペースの環境づくりもおこなっている。	一人ひとりの特性に応じ、また成長過程をみながら、支援内容を考察していく。
3	事業所に当社が運営する保育園を併設しており、利用時連携が図れる。	・当保育園児の通所の他、他の園の子も通所もできる。(送迎あり) ・保育園との共有スペースで健常児と交流が図れる。	保育園とのさらなる連携を図り、情報共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルを策定し、定期的に避難訓練を行い、連絡帳やSNS等で発信しているが、周知がしっかり出来ていない。	SNS等に不慣れな職員が多く、経験が不足している。	SNS、連絡帳やおたよりでも掲載し、職員間ではマニュアルを熟読し、定期的に訓練を実施するなど、周知徹底ができるように努力する。また、SNSの知識向上に努める。
2	当施設の入り口前の階段、有効スペースの充実に欠けている	構造上やむを得ない部分はあるが入口付近に物が多く配置されている。	・階段は、今後検討し、安全に利用できるように努力していきます。 ・狭いスペースに関しては、今あるスペースを有効活用し子供たちが楽しく過ごせるように考えていきます
3			